

【教育活動の名称】 アーチェリー部の活動支援  
【副題】

【学校名】 滋賀県立北大津高等学校

## 1 本校の概要

自然環境に恵まれた風光明媚な仰木の里に、昭和59年、普通科高校として創設され、今年で創立41年目を迎えます。育てる学校を基盤として、規範意識の醸成と確かな学力を育み、心豊かな逞しい次世代の担い手の育成に努めています。各学年3学級・計9学級で、国際文化コース・理系進学コースを合わせた、主に大学進学などを目指す「アドバンス」、各教科を幅広く学習し、多様な進路希望の実現を目指す「キャリア」、体育に関する専門科目の学習を通して、スポーツリーダーの育成を目指す「スポーツ」の3つの類型を編成しています。

## 2 取り組んだ内容

### (1) 練習について

本校は部活動に所属する生徒が学校全体の約3割に留まり、アーチェリー部の部員数も少ない中、部員それぞれが己の強い志を持って日々鍛錬に励んでいる。部員の仲も良くお互いを尊重し、切磋琢磨しながら成長している。

平日は放課後から19時まで、土日祝日は朝から夕方まで練習をこなしている。練習内容は決まった距離をもくもくと矢で射抜き続けるというもので、忍耐力も体力も精神力も必要な競技である。



### (2) アーチェリー競技について

アーチェリーは個人競技で身体に合わせた道具を各自で揃える必要があり、消耗品もいくつかある。高額な道具も多く、金銭面での家族等の協力が不可欠である。

### (3) 支援金の使い道について

今回の支援金ではアーチェリーの道具の一つで消耗品でもある「矢」を購入した。現在、多くの矢を所持している。

ことにより、一回あたり6本打ちから12本打ちへと練習量を増やすことが出来た。来シーズンに向けて一回あたり12本打つことは体力的・技術的にも重要になる。

## 3 活動の成果

初心者で入部した2年生女子部員がインターハイで第2位と結果を出した。滋賀県代表で出場した国スポでは2年生ながら個人第3位、団体戦では優勝に貢献するなどの快挙を成し遂げた。その後、来年の国スポを見据えたメンバーに選抜されNTCで開催された合宿に参加するなど、今後の活躍が期待されている。

現在も練習に真面目に取り組む姿勢は継続しており、卒業後の進路も踏まえて本格的にアーチェリー競技に向き合う様子が伺える。

